

令和三年 十一月

オレンジは秋の色（オレンジより柿？）。朝倉では柿の季節になりました。私の香港は農地が少なく、地元の果物は非常に限られており、世界中から果物を輸入しています。そのため、それぞれの果物の旬の時期がわからないのです。日本の場合には全く違います。旬のものがあれば、すぐ市場を埋め尽くす。

柿が一般家庭で栽培されているのは面白い。それが日本のユニークな風景になっています。柿にはみかんと同様に「家庭の果物」というイメージがあり、メロンやブドウのような「高級な果物」とは異なります。しかし、このことが柿を日常的に食べるのに適したものになっています。

柿といえば、香港でも人気のある果物のひとつです。柿の多くは中国から輸入されていますが、中には日本や韓国産のものもあります。柔らかい柿が最も一般的で、硬い柿はあまり見かけません。朝倉市に来てから、柿のことをもっと知り、たくさん食べました。香港で食べていたものよりもずっと新鮮で、柿の種類の多さにも感動しました。これからは柿の可能性を探っていきたいと思います。新鮮な果物としてだけでなく、料理にも使ってみたいと思います。

今月は、柿農園にも行って写真取材をしました。フルーツ狩りは素敵な観光アクティビティであり、これは朝倉市で推進する価値のあることです。コロナが終われば、海外からも朝倉柿を食べに来てくれることを期待しています。